31th Program

第 31 回京滋奈良ハートリズム研究会プログラム

平成２７年１１月１４日　メルパルク京都　【６Ｆ会議室Ｄ】

■ 14：45 会の辞　　京都府立医科大学　循環器内科　　白山　武司

■ 14：50～15：50　一般演題　＜Ｉ＞

※一演題につき 15 分（口述時間 10 分/質疑応答 5 分）

座長　白石　裕一【京都府立医科大学】

Ｉ-A『房室ブロックに対しペースメーカー移植後慢性期に致死的不整脈を来たした三例』
井上啓司　京都第二赤十字病院循環器内科

Ｉ-B『ICD 植込み直後に感染性心内膜炎を発症した１例』
小島章光　綾部市立病院 循環器内科　（京都府立医科大学）

Ｉ-C『DOAC 導入前後の心原性脳梗塞患者解析で見えてきたもの』
綿貫正人　彦根市立病院 循環器内科

Ｉ-D『ループレコーダーの植込みが心室細動の同定だけではなくその後の薬効評価にも有用であった先天性 QT 延長症候群の一例』
佐々木康博　神戸市立医療センター中央市民病院循環器内科

■ 15：50～16：00 休　憩（10 分）

■ 16：00～17：00 一般演題　＜Ⅱ＞

座長　綿貫　正人【彦根市立病院】

Ⅱ-A『日内変動を伴うＪ波を認めた特発性心室細動の１例』
岸森健文　滋賀県立成人病センター循環器内科

Ⅱ-B『初診時にブルガダ症候群の診断基準を満たす所見を得られなかったが、
後日施行した一卵性双生児の弟の所見からブルガダ症候群と診断した症例』
滝爪章博　奈良県立医科大学附属病院 循環器・腎臓・代謝内科

Ⅱ-C『心房細動アブレーションにおける肺静脈隔離術の目的とは…
隔離すること？』
小澤友哉　滋賀医科大学 循環器内科・不整脈センター

Ⅱ-D『Successful Ablation with a Multipolar Mapping Catheter for
Swallowing-Induced Atrial Tachycardia』
Naoaki Onishi　Division of Cardiology of Tenri Hospital, Nara, Japan

■ 17：00～17：00 休　憩（10 分）

■ 17：10～18：10 特別講演

座長／白山　武司　　【京都府立医科大学】

『Brugada 症候群とその類縁疾患』

国立循環器病研究センター　心臓血管内科
草野　研吾　先生

■ 18：20～19：40　情報交換会　と機器メーカー展示会

メルパルク京都　【６Ｆ会議室Ｃ】